

平成 16 年 4 月 6 日
アイワイバンク銀行

平成 16 年 3 月期 業績予想の修正に関するお知らせ

株式会社アイワイバンク銀行（東京都千代田区、代表取締役社長 安齋 隆）は、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年 11 月 7 日の中間決算発表時に公表した平成 16 年 3 月期（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 16 年 3 月期 業績予想の修正（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）

当期純利益の今回修正予想には、税効果会計における繰越欠損金等にかかる繰延税金資産の計上を反映しております。

（金額単位：億円）

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	282	12	11 ※1
今回修正予想 (B)	291	29	48 ※2
増減額 (B-A)	9	17	
増減率 (%) ＜小数点第二位以下四捨五入＞	3.2	141.7	
(ご参考) 平成 15 年 3 月期 実績 ＜億円未満を切り捨て表示＞	115	△81	△81

※1 当期純利益の**前回発表予想**につきましては、税効果会計における繰越欠損金等にかかる繰延税金資産の計上の**反映前の数値**です。

※2 当期純利益の**今回修正予想**につきましては、税効果会計における繰越欠損金等にかかる繰延税金資産の計上の**反映後の数値**です。

2. 業績予想修正の理由等

(1) 経常収益の上方修正 (282 億円→291 億円) および 経常利益の上方修正 (12 億円→29 億円) について

○ATM 利用件数の堅調な推移

- 当社の主たる収益は、提携先の銀行をはじめとした金融機関のお客さまが当社の ATM をご利用された際に当該金融機関からいただく手数料ですが、平成 15 年度下期においても、引き続き堅調に ATM 利用件数が増加しました。
- これは、金融機関との提携が順調に進むとともに、ATM 展開ならびに ATM 設置台数もほぼ前回の予想通り進捗したことに加え、広告宣伝活動を積極的に展開したこと等によりお客さまに一層認知していただき、その結果ご利用頻度も向上したことによるものと考えております。
- こうした下期の状況により、平成 15 年度（通期）の ATM1 日 1 台あたりの利用件数は前回予想の約 66 件から約 68 件となりました。
- ATM 利用件数の堅調な推移に加え、経常費用が抑えられた結果、経常収益、経常利益をそれぞれ上方修正いたします。

(2) 当期純利益の上方修正 (11 億円→48 億円) について

○上記 (1) 経常収益・経常利益の増加

○繰延税金資産の計上の反映

- 当社ではこれまでも税効果会計を適用しておりますが、昨年 11 月の予想では、繰越欠損金等にかかる繰延税金資産計上額の算出に必要な将来における確実な利益計画を策定できる状況ではなかったため、それを除いた形で発表させていただいておりました。
- 今回、繰延税金資産の計上を以下のとおり反映しております。

過去の繰越欠損金等のうち、現時点での平成 17 年 3 月期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）の税引前当期純利益見込み額をベースとした税務上の繰越欠損金に充当する課税所得見込み額を上限として、繰延税金資産を約 21 億円計上する見込みです。なお、この前提として、平成 17 年 3 月期の税引前当期純利益を現時点では約 51 億円と見込んでおります。

3. ご参考 (開業来の業績実績と今回修正予想) ※金額単位：百万円

<実績>

	経常収益	経常利益	当期純利益
平成 14 年 3 月期 (平成 13 年 4 月 10 日～平成 14 年 3 月 31 日)	1,906	△12,168	△12,181
平成 15 年 3 月期 (平成 14 年 4 月 1 日～平成 15 年 3 月 31 日)	11,568	△8,173	△8,191

<今回修正予想>

平成 16 年 3 月期 (平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日)	29,100	2,900	4,800
--	--------	-------	-------

以上

(注) 本資料における業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断した見通しであり、実際の業績結果と異なる場合があります。
なお、平成 16 年 3 月期の決算発表は、来月 5 月上旬を予定しております。